



2013年3月期第2四半期 決算概要



2012年11月14日

株式会社日本製紙グループ本社



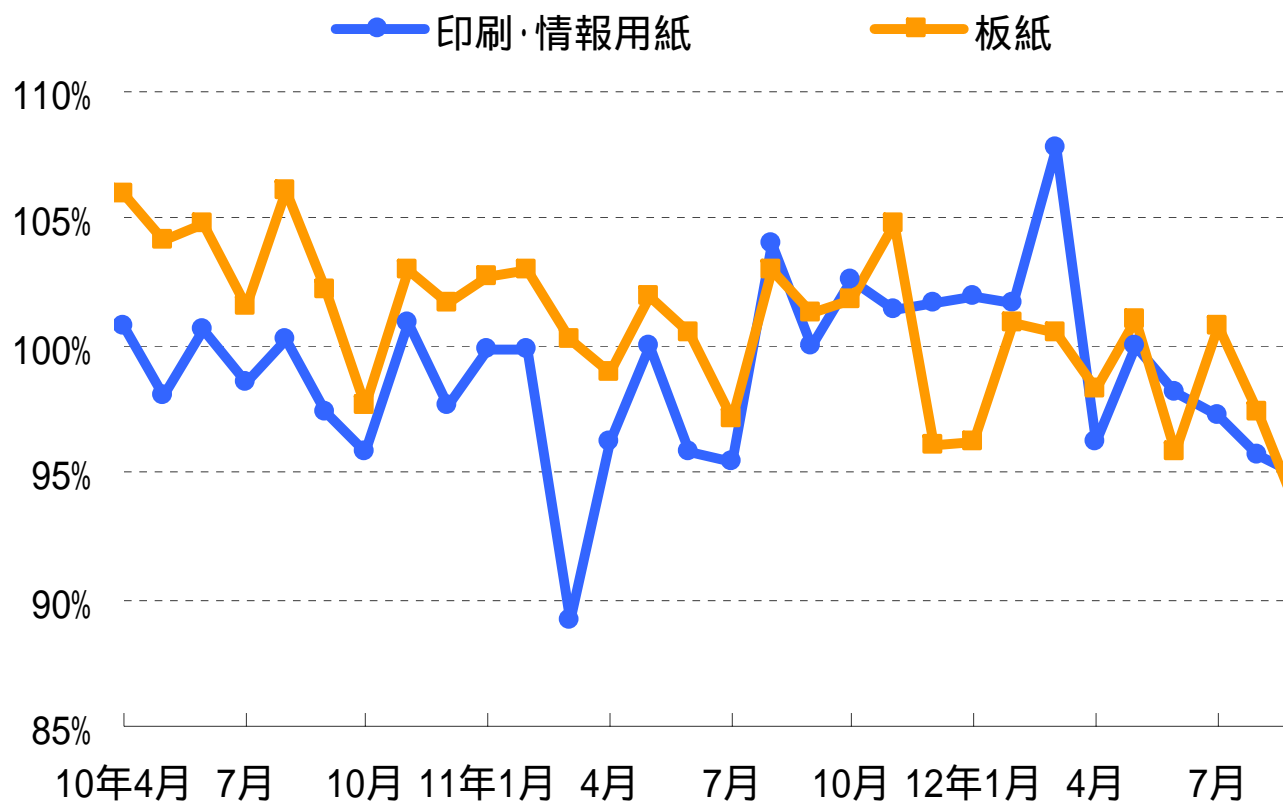


- (1) 2013年3月期4～9月 事業環境の概要
- (2) 2013年3月期第2四半期累計 決算概要
- (3) 2012年7～10月 主なトピックス
- (4) 2013年3月期 業績見通し



内需はやや減速

内需(国内メーカー出荷量+輸入量) 対前年比



出所: 日本製紙連合会



国内メーカー出荷量も低調に推移

2012年4月 - 2012年9月
メーカー国内出荷量

(単位:千トン)

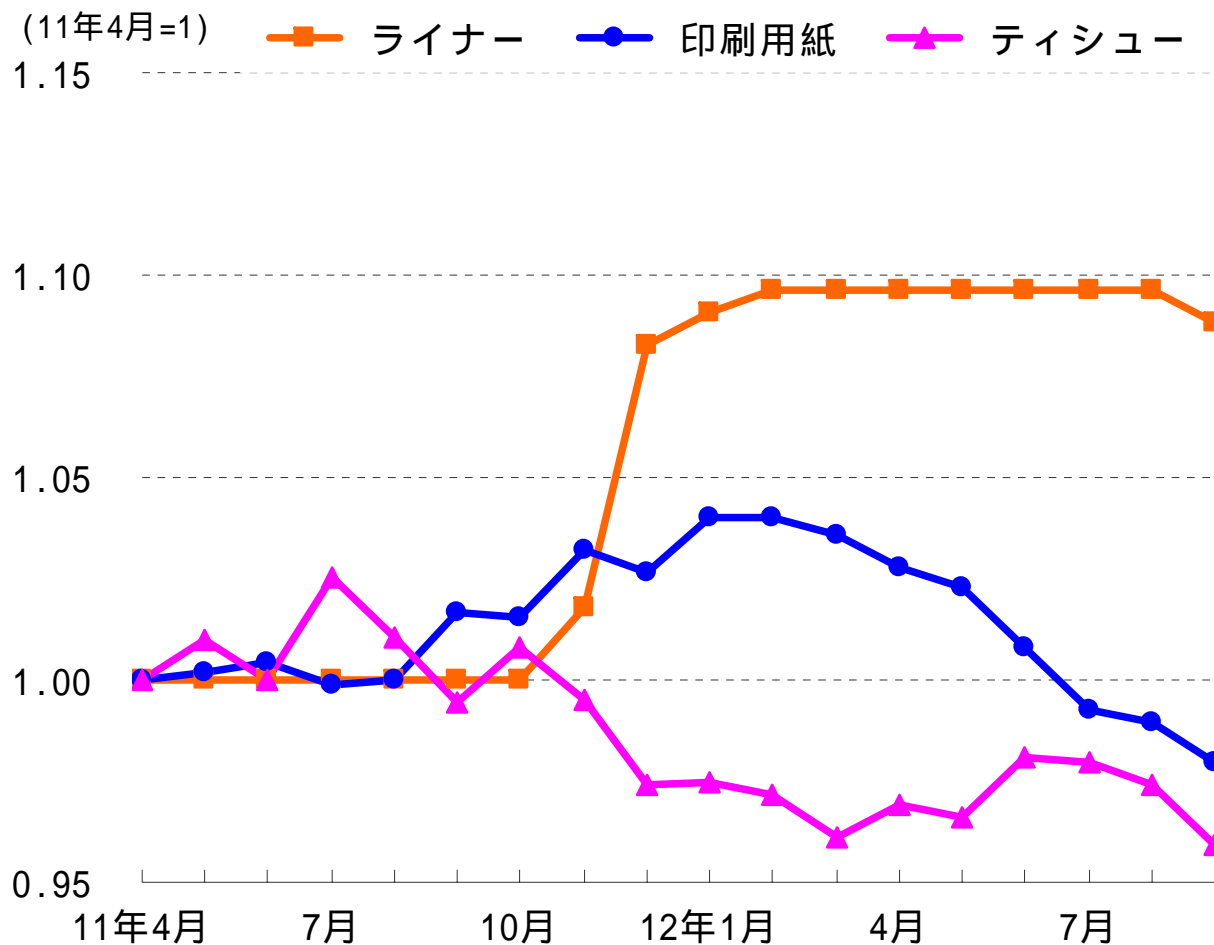
		FY2011/1H	FY2012/1H	前年同期比
紙	新聞巻取紙	1,558	1,601	2.8%
	印刷・情報用紙	4,073	3,805	6.6%
	塗工印刷用紙	2,304	2,153	6.6%
	非塗工 / 特殊印刷用紙	1,083	1,009	6.9%
	情報用紙	686	644	6.2%
	その他の紙(包装・衛生・雑種紙等)	1,649	1,619	1.9%
合計		7,280	7,025	3.5%
板紙	段ボール原紙	4,345	4,259	2.0%
	紙器用板紙他	1,162	1,097	5.6%
	合計	5,508	5,356	2.8%
紙・板紙合計		12,788	12,381	3.2%

塗工印刷用紙には微塗工紙を含む。

出所: 日本製紙連合会



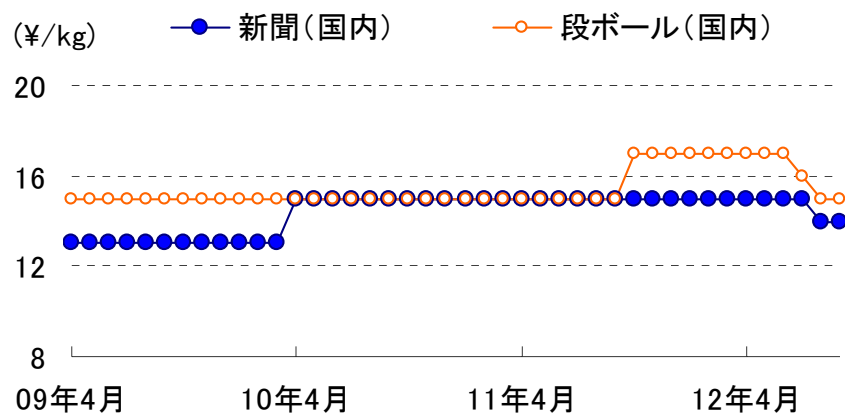
印刷用紙市況は大きく軟化



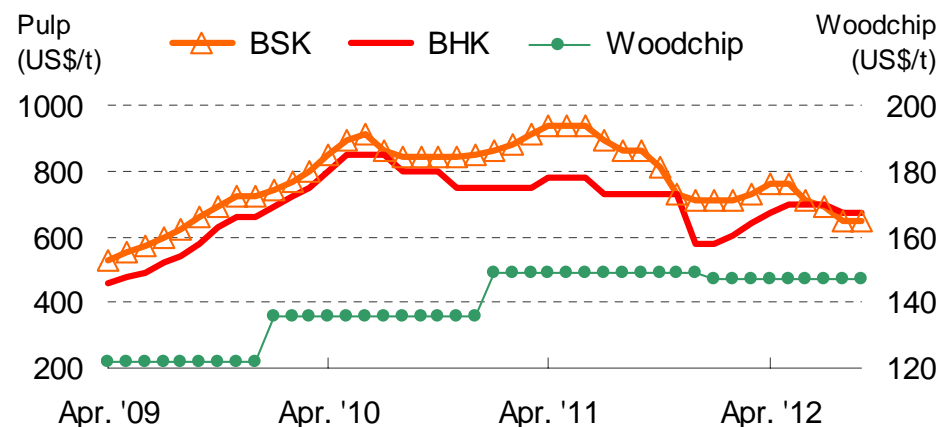


原燃料価格の高騰は一服

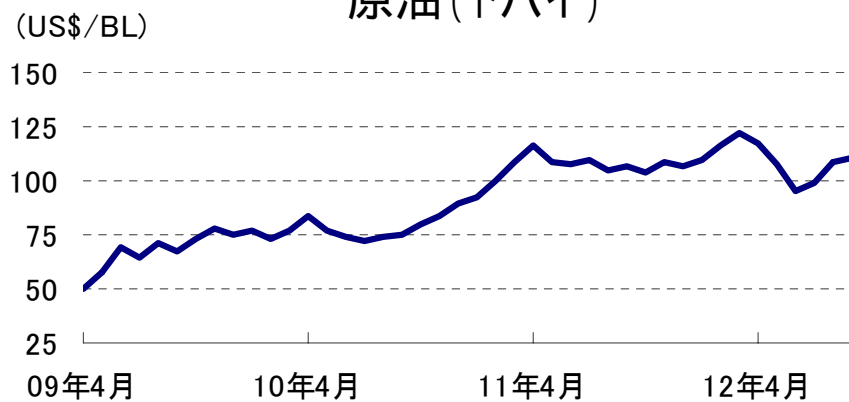
古紙



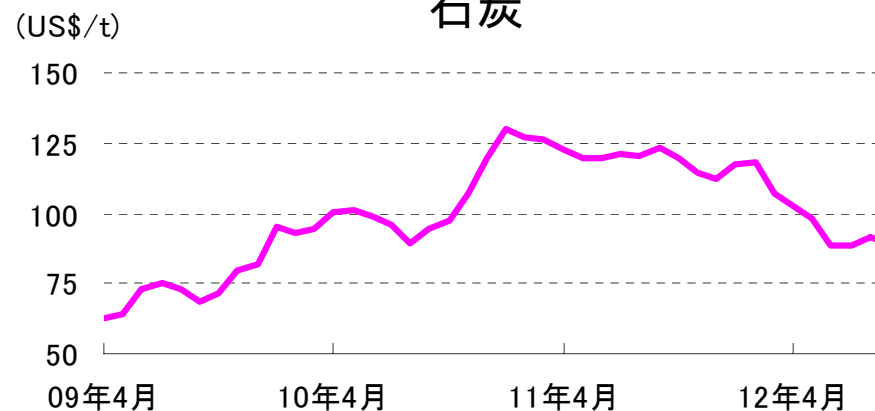
チップ・パルプ



原油(ドバイ)



石炭



出所: 古紙再生促進センター、関東製紙原料直納商工組合、財務省貿易統計、原油 = Platts、石炭 = Global Coal Index

(2) 決算概要 - ハイライト



(単位:億円)	FY2012 2Q累計実績	増減 (対前年)	増減 (対計画)
<売上高>	5,072	43	228
<営業利益>	127	17	28
<経常利益>	102	227	28
<四半期純損益>	17	409	33

- ❑ 厳しい事業環境を反映し、売上高、営業利益とも前年実績を下回る
- ❑ 昨年度は理文造紙のれん代の一括償却、震災損失を計上したことから、経常利益、純損益は前年比で大幅に改善
- ❑ 特別損失として、有価証券評価損50億円を計上

(2) 決算概要 - セグメント別概況



厳しい事業環境を反映し、紙パルプ事業で減収減益

上段:売上高
下段:営業利益
(単位:億円)

	FY2011			FY2012	対前年 増減
	上期	下期	通期	上期	
紙パルプ	4,041	4,136	8,177	3,994	48
	89	153	242	75	14
紙関連	482	453	935	481	0
	41	26	67	34	7
木材・建材・ 土木建設関連	281	326	607	278	3
	7	18	25	9	3
その他	311	394	706	319	7
	7	24	31	8	1
合計	5,115	5,309	10,424	5,072	43
	144	221	365	127	17

(2) 決算概要 - 紙・板紙販売数量



生産能力回復により塗工紙は前年比増加

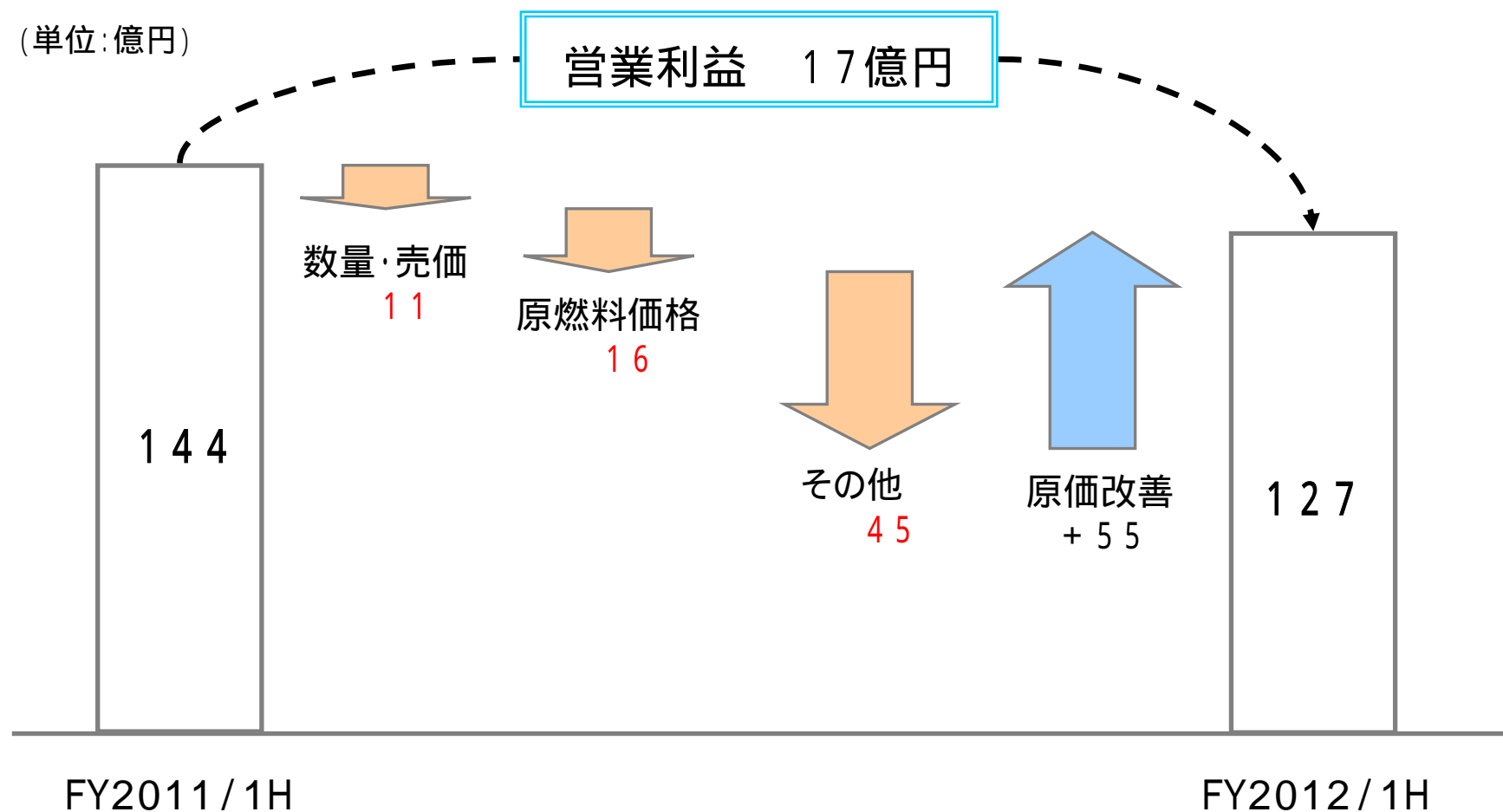
(単位:千トン)

		FY2011/1H	FY2012/1H	前年同期比
紙	新聞用紙	573	583	1.7%
	印刷・情報用紙	1,172	1,155	1.4%
	塗工紙	587	628	7.1%
	非塗工紙	271	257	5.0%
	情報用紙	314	270	14.2%
	包装・雑種紙他	185	182	1.5%
	国内	1,930	1,920	0.5%
輸出	34	41	20.4%	
紙合計		1,964	1,961	0.1%
板紙	段ボール原紙	609	580	4.7%
	紙器用板紙他	178	171	4.2%
	国内	787	751	4.5%
	輸出	28	23	18.4%
	板紙合計	815	774	5.0%
紙・板紙合計		2,779	2,735	1.6%



洋紙事業の復興計画は着実に進展

(単位:億円)



昨年度は震災による停機マシンの固定費が特別損失として計上されたが、今年度は費用として営業利益レベルで計上された影響、および減価償却費の減少影響等を含む。

(2) 決算概要 - 連結貸借対照表



(単位:億円)

	2012年 3月末	2012年 9月末	増減
総資産	15,276	15,061	215
現預金	1,194	1,004	189
受取手形・売掛金	2,052	2,144	92
棚卸資産	1,549	1,668	119
その他流動資産	669	493	176
有形・無形固定資産	7,763	7,773	10
投資その他資産	2,050	1,980	70
負債合計	11,610	11,401	209
有利子負債(リース債務含む)	8,383	8,378	5
その他負債	3,227	3,023	204
純資産合計	3,667	3,661	6
うち株主資本	3,715	3,736	21

(2) 決算概要 - 連結キャッシュ・フロー



(単位:億円)

項目	FY2011/1H	FY2012/1H	差異
営業活動によるCF	178	124	54
税金等調整前当期純利益	409	36	445
減価償却費	368	319	49
運転資金増減	123	273	150
その他	341	42	300
投資活動によるCF	290	284	6
固定資産取得	207	269	62
固定資産の売却	1	8	7
その他	84	23	61
フリーCF	112	160	48
財務活動によるCF	98	38	60
有利子負債増減	1	7	6
支払配当金	23	23	0
その他	73	7	66
連結範囲変更・為替換算差等	2	8	11
現金及び現金同等物期首残高	1,047	1,193	145
現金及び現金同等物期末残高	835	1,003	168



(3) 2012年7～10月 主なトピックス

- 8月22日 日本製紙釧路工場でクラフト紙の生産体制を確立
- 8月30日 日本製紙石巻工場が完全復興
- 8月31日 微塗工紙「オーロラS」に新ラインナップが誕生
- 9月19日 日本製紙クレシア岩国工場の全生産設備を停止
- 9月30日 鈴川事業所の全製造設備を停機
これにより、洋紙事業の復興計画における設備停機が完了
- 10月 1日 日本製紙を存続会社として、連結子会社4社が合併
(日本製紙、日本大昭和板紙、日本紙パック、日本製紙ケミカル)
- 10月10日 オーストラリアンペーパー社メアリーヴェール工場での古紙パルプ設備新設を決定
- 10月11日 日本製紙釧路工場における溶解パルプ生産体制を確立

(4) 業績見通し



(単位:億円)	FY2012	FY2011	増減 (対前年)
<売上高>	10,300	10,424	124
<営業利益>	270	365	95
<経常利益>	200	61	139
<当期純損益>	60	417	477

□ 事業環境の変化を織り込み、紙・板紙を中心に販売見通しを修正



国内販売(通期見通し)

数量 : 洋紙 対前年同期比 + 1.6% (対前々年 4.7%)

板紙 対前年同期比 2.2%

売価 : 洋紙 足元横ばい

板紙 足元横ばい

主要原燃料価格・為替(下期見通し)

原油 : 105ドル/バレル(トハイ)

石炭 : 115ドル/t(豪州炭ベンチマーク価格)

古紙 : 段ボール古紙 8月、10月の価格改定(各 2円/kg)を反映

その他の古紙 足元横ばい

為替 : 米ドル 80円/ドル

豪ドル 80円/ドル



塗工紙の販売回復を見込む

(単位:千トン)

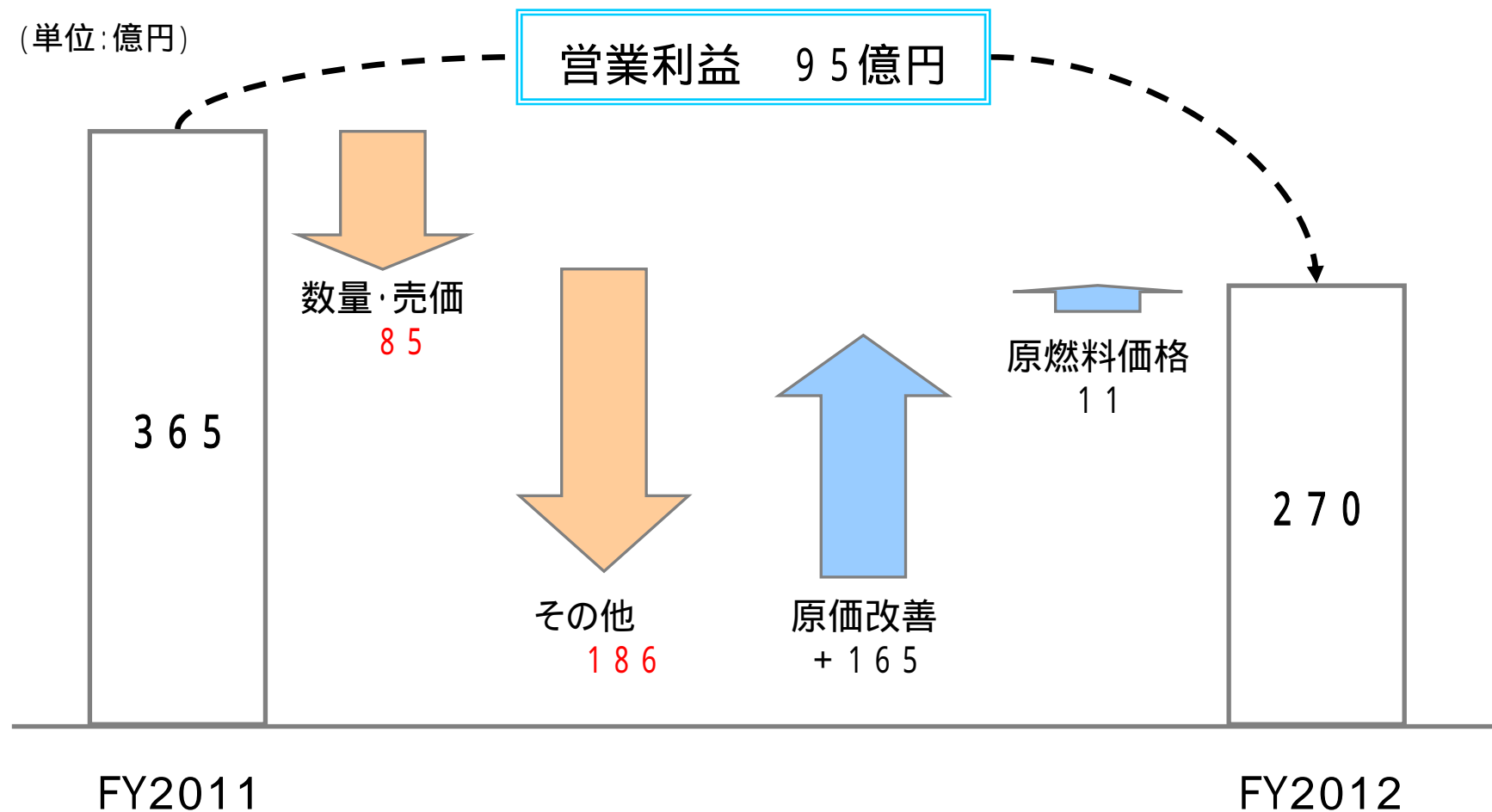
		FY2011	FY2012	前年同期比
紙	新聞用紙	1,190	1,171	1.6%
	印刷・情報用紙	2,326	2,391	2.8%
	塗工紙	1,172	1,310	11.8%
	非塗工紙	549	538	2.1%
	情報用紙	605	543	10.2%
	包装・雑種紙他	371	367	1.1%
	国内	3,887	3,929	1.1%
輸出	61	82	34.7%	
紙合計		3,948	4,011	1.6%
板紙	段ボール原紙	1,190	1,162	2.4%
	紙器用板紙他	359	352	2.1%
	国内	1,550	1,514	2.3%
	輸出	54	54	0.0%
板紙合計		1,604	1,568	2.2%
紙・板紙合計		5,552	5,579	0.5%

(4) 業績見通し - 営業利益増減要因(対前年同期比)



販売要因を下方修正、原価改善は順調に進捗

(単位:億円)



昨年度は震災による停機マシンの固定費が特別損失として計上されたが、今年度は費用として営業利益レベルで計上された影響、および減価償却費の減少影響等を含む。

(4)業績見通し - 主要指標



	FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012 1H	FY2012 (見込)
売上高営業利益率	1.7%	3.9%	3.2%	3.5%	2.5%	2.6%
売上高経常利益率	1.5%	3.4%	2.9%	0.6%	2.0%	1.9%
D/Eレシオ:負債資本比率	1.85	1.64	1.75	1.94	1.97	1.98
設備投資額(億円)	649	356	466	572	312	633
減価償却費(億円)	833	819	786	744	319	647
純有利子負債(億円)	7,692	7,386	7,275	7,189	7,373	7,400
正規従業員数(人)	13,088	14,210	13,834	13,407	13,373	13,193

2012年度より、南栄、ニチモクファンシーマテリアル、Nippon Paper Resources Australia
の3社を新規連結



注意事項

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

株式会社日本製紙グループ本社